


国民健康保険事業




0歳から74歳までの国民健康保険に加入している方の医療費などを負担する会計です。主な歳出は、医療費の保険給付費14億9,480万円(0.4%)、後期高齢者支援金3億590万円(▲1.1%)です。

22億8,647万円(0.5%)


農業集落排水事業

十余三、島、牛尾・船越、林地区の下水を処理する会計です。主な歳出は、公債費(借り入れた地方債の元利償還金)6,904万円(0%)です。

1億3,526万円(2.1%)




介護保険事業



寝たきりや認知症などで介護を必要とする方の介護サービス費などを負担する会計です。主な歳出は、介護サービスの保険給付費12億8,785万円(5.5%)です。

13億5,276万円(5.6%)

学校給食センター事業



子ども園4・5歳児や小・中学生などの給食に係る会計です。

1億8,031万円(1.4%)

後期高齢者医療



75歳以上の方に対する医療費などを負担する会計です。主な歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金1億4,150万円(8.6%)です。

1億5,417万円(6.7%)

特別会計

平成26年度


予算



**総額130億2,809万円でスタート
支出ベースで約10億円強の縮小予算**

4月より幼児教育の充実を図るため町内の保育所と幼稚園をひとつに統合した「多古こども園」の建設など大きな事業が終了する一方で、特別会計と公営企業会計への繰出金は約6,200万円の増額となりましたが、全体的にはほぼ例年並みに落ち着いた予算規模となり、3月の定例議会で可決されました。


水道事業



安全・安心な上水を供給する会計です。老朽管の更新や浄水場の施設を整備・改良することにより、上水の安定供給を行います。

- 収益的収支
 - 収入 3億4,326万円(13.8%)
 - 支出 3億7,228万円(14.3%)
- 資本的収支
 - 収入 1,244万円(▲75.8%)
 - 支出 1億8,014万円(▲28.2%)

国保多古中央病院事業



医療のほか、訪問看護・居宅介護支援・居宅サービスなどの事業を行う会計です。

- 収益的収支
 - 収入 22億7,852万円(7.6%)
 - 支出 23億5,359万円(11.1%)
- 資本的収支
 - 収入 1億8,130万円(▲42.6%)
 - 支出 2億9,728万円(▲29.0%)

企業会計

町債と財政調整基金

一般会計における今年度の借入額は3億2,650万円で、一方、元金償還額返済金のうち元金は2億7,735万円です。年度末の借入残高見込額は35億6,085万円となります。

また、家庭における預貯金に相当し、収入の減少や支出の増加に備え積立てておく財政調整基金については、歳出に対する不足額の穴埋めとして4億4,385万円を取崩し、歳入に繰り入れる見込みです。年度末の基金残高見込額は12億3,412万円となります。

からの繰入金総額は6億202万円(6.7%増)です。

学校給食センター事業特別会計では、多古こども園の開園に伴う食数の増や消費税率の引上げによる原材料費の増、国民健康保険事業特別会計では、1人あたりの保険給付見込額の増、農業集落排水事業特別会計では、電気料値上げによる光熱水費の増、介護保険事業特別会計では、介護保険サービス給付費の増、後期高齢者医療特別会計では、後期高齢者広域連合納付金の増により増額となりました。

また、公営企業会計2会計では、収益的支出総額が27億2,587万円(11.6%増)、資本的支出総額が4億7,742万円(28.7%減)で、一般会計からの繰入金は両会計合わせて3億9,190万円(6.6%増)となっています。

平成26年度予算の概要

※()内はすべて前年度比

一般会計

一般会計の当初予算額は、昨年度より17.7%減の57億1,583万円です。

歳入のうち主なものは、町税で18億744万円(0.1%増)、地方交付税で15億3,000万円(0.0%)、国県支出金で7億3,654万円(25.2%減)となっています。

一方、歳出を目的別にみると、防災行政無線個別受信機デジタル化更新事業の完了等により総務費が8億2,406万円(8.9%減)、多古こども園建設事業の完了等により民生費が17億6,069万円(36.0%減)、多古中央病院事業会計繰出金の増額等により衛生費が7億9,940万円(3.3%増)、町道飯笹・西古内線道路改良事業の完了等により土木費が5億7,312万円(27.0%減)となっています。

また、歳出を性質別にみると、多古こども



解説！財政用語

目的別(目的別分類)…経費を行政目的によって分類すること。主として議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費など。予算決算書における「款」にあたる。

性質別(性質別分類)…経費を経済的な性質を基準として分類すること。主として人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等、普通建設事業費、公債費、繰出金など。

需用費…一般的に短期間に消費される物品などの取得または修理等に要する経費。消耗品、燃料費、食糧費、光熱水費など。性質別分類の物件費の中にも含まれる。

物件費…性質別分類において、人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の消費的性質経費の総称。主として賃金、旅費、需用費、備品購入費、委託料、原材料費など。

特別会計と公営企業会計

特別会計5会計の当初予算総額は41億897万円(2.4%増)で、一般会計の開園に係る需用費の増額等により物件費が8億8,069万円(12.0%増)、道路補修工事の増額等により維持補修費が8,129万円(30.4%増)、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の給付等により補助費等が12億681万円(7.1%増)、国民健康保険事業特別会計繰出金の増額等により繰出金が7億8,302万円(4.2%増)と増加しています。一方で、児童手当の減額等により扶助費が5億7,922万円(2.8%減)、多古こども園建設事業及び町道飯笹・西古内線道路改良事業の完了等により普通建設事業費が5億7,165万円(7.6%減)と減少しています。

※一般会計の歳入と歳出(目的別)の詳細については、6〜7ページをご覧ください。